

令和3年度

# 感想文集



となみ野ベースボールクラブ

## 発行にあたって

日頃から、となみ野ベースボールクラブにご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながらの活動となりました。途中、警戒レベルの引上げで活動を中止せざるを得ない期間もありましたが、当クラブでは「自信・挑戦・希望」をスローガンとして子どもたちの心の醸成と共に、少しでも野球経験を積ませたいとの思いをもって活動を展開してまいりました。

参加した子どもたちは、これから希望する高校へ進学し、当クラブで得た経験を活かして、多方面に渡り大いに活躍をしてくれることを心から願っています。

さて、当クラブでは、子どもたちが活動の中で感じた様々なことをまとめて感想文集を作成し、毎年関係各所に配布しています。ご一読いただければ幸いです。

結びになりますが、今後とも野球を通して青少年の野球技術の向上と人間形成を基本方針として、更に充実した活動を行うとともに、微力ながら砺波地区の野球の振興に貢献できればと考えていますので、引き続き格段のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます、発行にあたってのご挨拶といたします。

令和3年12月吉日

となみ野ベースボールクラブ

## となみ野ベースボールクラブで学んだこと

般若中学校 3年 森 脩真

僕がとなみ野ベースボールクラブの活動で学んだことは、大きく分けて二つあります。

一つ目は、キャッチボールの大切さです。小学校の軟式野球をしていた頃から監督から何度となく言われてきました。軟式と硬式ボールは想像していた以上に感覚が違い、とても戸惑いました。わずかな指先のかかり具合の差で投球が変化してしまうことが分かり、キャッチボールをする時は正確に相手の胸に向かって送球することを心掛けました。

二つ目は、ウォーミングアップ、ストレッチングの重要性です。最終日の講座では、関節の可動域、筋肉の柔軟性向上のために意識するポイントを分かりやすく実技で教えてもらいました。今までただ体を温めるだけと思っていたのに、それでパフォーマンスが変えられるほどと聞いて驚きました。

最後に、この活動の機会を与えてくださった指導者、コーチの方々、チームの仲間感謝します。ありがとうございました。

## となみ野ベースボールクラブに参加して

城端中学校 3年 小栗 隼祐

僕は、となみ野ベースボールクラブでの活動を通してたくさんのことを学びました。それは「野球を楽しむ」ということです。僕は、部活ではあまり結果が出ずに引退してしまいました。だからこそ、高校で結果を出したいと思い、このクラブに参加しました。

最初はとても緊張したけれど、全員優しく、すぐに慣れることができました。練習では、基礎からとても丁寧に教えていただき分かりやすかったです。バッティングでは、積極的に打つということを学びました。これをしっかりと意識したおかげで、ヒットを多く打つことが出来たと思います。試合前にコーチが「野球を楽しめ」と言って、僕はとても心に響きました。

結果を出すことができなかつた日もあつたけれど、なぜ打てなかつたのかを考えるようになりました。

僕は、となみ野ベースボールクラブで大きく成長することが出来たと思います。短い間でしたが、ご指導ありがとうございました。これからも、野球を楽しみたいです。

## 参加して学んだこと

城端中学校 3年 中川 歩夢

私は、このクラブに入って沢山のことを学びました。

まずは、仲間と協力するということです。私は、今まで他のチームの人と野球をしたことはありませんでした。そのため他のチームの人と野球をして改めて野球の楽しさを実感することができました。他のチームの人と一緒にキャッチボールをしたり、バッティングをしたりしてお互いの強さを高め合うことが出来ました。このチームでみんなと一緒に野球をすることができて本当に良かったです。

次に、野球の厳しさです。私は、試合でピッチャーをしていて、色んなことに気が付きました。打ち取った当たりでも守備が取ってくれないと厳しいということです。守っている人は、エラーをすることはあります。ですが私は、いつも点を取られるとやたらとエラーのせいにします。私は、自分の悪かったところや点を取られた原因を考えなかったのです。そのため、登板するたびに大量の得点を与えてしまいます。そこからピッチャーの厳しさについて学ぶことができました。

このクラブに入り、精神面で鍛えられて、肉体面、技術面でも鍛えることができたので、入って良かったと思いました。短い間だったのですがとても勉強になりました。本当にありがとうございました。

### 硬式野球の振り返り

城端中学校 3年 石川 拓幹

僕は、保育園から野球をしていてこれでもう9年、10年近く野球をしています。

今までの野球人生の中で初めて硬式ボールを投げ、打ち、硬式ボールと軟式ボールの違いを痛感しました。精一杯バットを振ってもボールがまったく飛ばない。遠くにボールを投げようと思って精一杯ボールを投げても重くて投げられない。そんな初めての経験は、とても新鮮でした。

僕は、もともと結構人見知りな初対面の人とはなかなかしゃべれません。硬式野球をやるにあたって、となみ野ベースボールクラブに入って今まで会ったことがない人やしゃべったこともない人と野球をするのはとても緊張しました。それに加えて、硬式野球をすることの恐怖心もあり更に緊張していました。その中でチームメイトのみんなは、積極的に声をかけてくれてとても嬉しかったです。

みんなのおかげで最後まで楽しく硬式野球をすることができました。大変貴重な経験をありがとうございました。

### 硬式野球で学んだこと

城端中学校 3年 高田結仁

僕は、硬式野球をして学んだことが二つあります。

一つ目は、硬式と軟式の違いです。今までは打球が詰まっても痛くはありませんでした。しかし、硬式を打ってみてバットの芯に当たらないと痛いんだと痛感しました。また、打球も全然軟式と違いました。自分が思っていたよりも打球は全然飛ばず、バウンドも全く跳ねませんでした。しかし、芯に当たると打球は伸びました。ここで僕は、どれだけバットの芯に当てるのが大切か実感しました。

二つ目は、仲間の大切さです。硬式野球をして、チームのみんなとのコミュニケーションがどれだけ大事か改めて分かりました。自分がこの硬式野球を続けられたのもチームのみんなのおかげだと思います。しかし、野球(プレー)においては、信じて信用したらダメだということも学びました。

硬式野球をとおして、仲間の大切さ、軟式と硬式の違い、支えてくださった家族、コーチへの感謝がどれだけ大切か学びました。

本当に自分にとって良い経験になりました。ありがとうございました。

となみ野ベースボールクラブの活動を通して・・・

福光中学校 3年 星野 夢玖

僕は、となみ野ベースボールクラブで、硬式野球の場合の守備の定位置や、バッティングや走塁の基礎、そして実践練習を通して各場面での動きを教わりました。

まず、硬式野球での守備の定位置では、軟式野球よりも定位置が後ろだということを教わりました。硬式野球は軟式野球に比べ打球が早いので、軟式野球の時の定位置で守ると大怪我のもとになるということも教わりました。

次に、バッティングの時の体重移動の仕方を教わりました。体重移動の仕方を教わってからバットに当たる回数が増えました。

次に、走塁の基礎を習いました。各塁のランナーの時のリードの位置や牽制をされた時の帰塁の仕方、盗塁のスタートタイミングを教わって盗塁成功率や走塁が良くなったと思います。

最後に実践形式での各場面での動きを教わりました。投手をしている時のカバーの動きやファーストの時のセンターやライトからのバックホームの時のカットの仕方を教わりました。

この活動を通して野球に対する思いやボールへの執着心が強くなりました。この活動で学んだことを高校野球で生かしたいです。

となみ野ベースボールクラブで学んだこと

庄西中学校 3年 青山 颯太郎

僕は、となみ野ベースボールクラブに参加してとても良い経験になりました。

活動の中で学んだことが3つあります。

1つ目は、コミュニケーションの大切さです。なぜなら、野球は団体スポーツで、必ず話す力が必要になってくるからです。初めの頃は、環境に慣れずにチームメイトともあまり話をしませんでした。しかし、環境に慣れてきた頃から自分から話しかけるようになりました。練習の合間や練習が終わった後などに相手の好きなことや趣味などをたくさんの人に聞きました。チームメイトとの仲が深まったおかげで、試合中での声かけやチームの活気にも繋がったと思います。

2つ目は、考えてプレーをすることです。なぜなら、他のスポーツとは違い、一球一球プレーが途切れ、一球ごとに状況が変化していくからです。例えば、無死一塁で考えられるプレーが、前まではセオリー通りのことしか考えられませんでした。まだ自分の頭の中になかった選択肢があり、とても勉強になりました。これは攻撃にも生きて、守備位置に応じた作戦の攻撃ができ、得点を重ねることが出来ました。

3つ目は、礼儀です。「日頃の生活がプレーにも影響する」ということを教わり、今も落ちているゴミを拾うことや、目を見て挨拶することを心がけています。学校では、前までは「おごーす」など適当な挨拶をしていましたが、このクラブでは挨拶はもちろん、道具の大切さについても教えていただきました。フォアボールのときはバットを両手で優しく置くということを学び、これからも続けていきたいと思っています。

となみ野ベースボールクラブで学んだことをこれからも活かして頑張っていきたいと思っています。

## となみ野ベースボールクラブに参加して

庄西中学校 3年 平木 翠城

僕は、となみ野ベースボールクラブに参加するとき心配な事が二つありました。

一つは、他校の生徒と上手くコミュニケーションが取れるか不安だったことです。この不安は直ぐに解決しました。同じ学年なので共通の話題で盛り上がりみんなととても仲良くなれました。

もう一つは、コロナ禍で学校の部活動時間も少なく実力や体力不足に不安を持っていました。この不安もコーチの方々が、ボールの扱い方からアップの仕方など丁寧に教えてくださいました。細かいルールの説明や確認をしっかりと頂いたり、進学してから部活に役立つ話もしてくださいました。

となみ野ベースボールクラブに参加して多くの仲間ができたこと、今までと違う環境で野球をして良い経験になったと思います。今まで培ったものは全て自分の力になっていると信じ、進学しても目標に向かって頑張りたいと思います。

ご指導してくださったコーチの皆様、お世話してくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。

## となみのベースボールクラブに入団して

中田中学校 3年 坂本 楽

僕は、となみ野ベースボールクラブに入ってキャプテンになりました。キャプテンとはいえども名前だけのキャプテンと言われてもおかしくなく、チームメイトに助けられながらチームをまとめることができました。

僕は、野球が上手くなく、守備も基本的なキャッチボールから教えていただきました。「ボールの回転を意識して投げなさい」「胸へ投げることを意識しなさい」などの忘れかけていたことを思い出すことができ、とてもわかりやすい説明ですぐに理解することができました。

ノックの時は、「ボールに対して正面からぶつかったように入っているので準備をはやくして、ボールの正面に入りなさい」と教わったことで、ボールへの入り方は、少しは上手くなったと思います。

走塁の面では、帰塁やベースランなどを教わりました。僕は、足が遅いので、ベースを早く回れる方法を知ることができ、良い経験になったと思っています。

練習の中で一番バッティングを重点的に教えていただきました。特に、ヘッドが下がってしまうのを指摘して頂いたのですが直せなかったのがとても悔しいです。これは高校で改善したいと思っています。

となみ野ベースボールクラブで得た経験を活かし、高校で野球を続けていきたいと思っています。

## 硬式野球を終えて

福野中学校 3年 河原 一心

僕は、2か月半の間、このチームで硬式野球をしてきて本当に楽しかったです。

最初このチームに参加した時は、スポ少の時から友達など南砺市の学校の人には知っていましたが、砺波市や高岡市の人には一人も知らなくて少し緊張しました。でも、みんな初対面なのに僕にどんどん話しかけてくれた

ので、すぐに緊張が無くなっていきました。

練習ではたくさんのコーチの方々に色々なことを教えていただきました。特にバッティングは今までは初球を見逃すのは当たり前の様になっていて、この小さい体でヒットを打てる確率は少ないので確率の高いと思っていた四球などでの出塁を狙っていました。

しかし、このチームで初球見逃しをすると駄目と言われてしまいました。その時コーチに、「空振りでも三振でもしていいから自分の思いっきりのスイングをしろ！」と言われ、この言葉のおかげで僕は積極的に振るという意識が身に付いたと思います。

最後に、僕は高校でも野球を続けたいと思っているのでこれからも頑張っていきます。

## Enjoy Baseball

出町中学校 3年 山本滉己

僕は、となみ野ベースボールクラブの活動を通してたくさん学んだことがあります。その中でも「勝つことにこだわらず楽しんで野球をする」ということが一番記憶に残っています。

中学校の野球部では、キャプテンという立場で「試合に勝つ」ことを常に考えていました。実際の試合では、勝ちにこだわりすぎて硬くなってしまい、思い通りのプレーが出来なかったことが多かったです。

となみ野ベースボールクラブでは、他校のたくさんの仲間と出会えてチームの仲間が笑顔で楽しみながら練習する姿、部活動では気付かなかった声掛けやプレーを知ることができました。また、親しく話しかけてくださる指導者の方々のおかげで楽しんで野球に取り組むことができました。以前よりもっと野球が大好きになりました。

僕は、高岡商業高校に進学し野球部に入部したいと思っています。自分より力のある選手が沢山いる中で、レギュラー争いを勝ち抜いて、幼いころからの夢である「甲子園」を目指します。このチームで学んだ「野球を楽しむ」ということを忘れずに夢に向かって頑張ります。

最後に、短い間でしたが指導して下さったコーチの方々本当にありがとうございました。指導者の方々に甲子園出場の報告ができるよう頑張ります。

## となみ野ベースボールクラブを終えて

出町中学校 3年 中谷優斗

僕は、となみ野ベースボールクラブに参加して野球の初心に戻って基礎を教えてもらいました。基礎もまだまだできていなかったと実感しました。どうすれば早く次の塁に進むことができるのか、どうすれば早く球を持ち替えて投げることができるのか、今まで気にしていなかった細かな所まで教えてもらい、とても参考になりました。

また、となみ野ベースボールクラブでは、中学の部活動では敵だったチームの同年代の人達とチームを組む貴重な機会だったので、新しい友達ができたり、苦手なプレーはどうしたら良いのかを聞くことができたので中学の部活動よりもレベルが高く、とても充実したものだったと思います。

となみ野ベースボールクラブでは、「感謝」も教わりました。高校でも野球を続けるつもりですが、これからも野球ができることに感謝し、頑張りたいと思います。

## 野球は楽しい

出町中学校 3年 遠藤 連

僕は、となみ野ベースボールクラブでたくさんのことを学びました。それは、野球は勝つだけではなく仲間と楽しんでやるということです。

僕は、正直、最初はこのチームに入る気はありませんでした。最初、練習はキツイし、知らない人たちと野球をしていても楽しくなくて辞めたいと思ったこともありました。しかし、次第に仲間たちと話せるようになり、コーチの方々からいろいろなことを教えて頂いて野球の楽しさを知ることが出来ました。練習はキツかったけど仲間が居たおかげで楽しめました。今まで野球をやってきた6年間は、勝つことだけにこだわって練習してきたのでとても新鮮でした。野球が好きになりました。

技術面では、野球の深さや難しさを知りました。今まではコーチに言われたことしかやらず、プレー中は考えるということをせずに野球をしていました。となみ野ベースボールクラブに入って自分でしっかり考えて野球を、プレーをする大事さを学びました。基礎的なことは大体できていると思っていたけど知らなかったことがたくさんあり、びっくりしました。みんなと楽しく野球の技術など大切なことをたくさん学べたので、今ではこのチームに入って良かったと思います。

高校へ行っても野球をやると思うので、楽しんで野球をするなどこのクラブチームで学んだことを活かし、野球をさせてもらえる感謝の気持ちを忘れずに、まずはたくさんのライバルがいる中でレギュラーを勝ち取って甲子園へ行きたいです。

## 努力

出町中学校 3年 北村 和希

「チャンスに強いバッターになりたい」その思いで毎日欠かさず素振りをしてきました。手の皮がむけても休まずに振り続けました。

僕は、特別足が速いわけでも、守備が上手いわけでもありません。だから自分の得意なバッティングでチームメイトに負けないための工夫をしたり、バッティングフォームを何度も変え、余計な力を入れずに打つなど試行錯誤を繰り返してきました。

硬式野球に慣れてきたところでオープン戦が始まり、対戦したピッチャー全員のレベルが高く、正直打てるか不安もありましたが、チャンスで打席が回ってきた時にしっかり結果を残すことができ、とても嬉しく自信になりました。これからも素振りは欠かさず続けたいと思います。

最後に、同世代のメンバーと一緒に野球ができて、とても楽しかったです。参加して良かったです。そして、短い期間でしたが、となみ野ベースボールクラブでいろいろ教えてくださった指導者の皆さん、本当にありがとうございました。



## 忘れられない最高のチーム

庄川中学校 3年 松原 悠翔

僕たち庄川は、他のみんなより遅くとなみ野ベースボールクラブに入り、1ヶ月半ほどしか一緒に野球をすることができませんでした。しかし、チームのみんなは僕たちが初めて行った日から話しかけてくれて仲良くしてくれました。そのおかげで僕たちは、短い間だったけど楽しく野球をすることができました。

また、指導者の方々も優しく僕たちに野球の技術を教えて下さいました。硬式ボールの打球の捕り方は、ボールがあまり跳ねないためグローブを常に下に置いておくこと、定位置は深く守ること、ファーストストライクをどんどん振ること、フライを打っても相手が落とすと思って全力で次の塁を狙うことなど、様々なことを教えて下さいました。この知識は、高校へ行っても忘れず生かしていきたいです。

指導者の方々は、とても優しくとても面白かったので僕たちはとても楽しく野球をすることができました。チームのみんな、指導者の方々、短い間でしたが本当にありがとうございました。

## 新しい仲間と

庄川中学校 3年 肥田 仁

僕は、中学校部活の軟式野球を引退してとなみ野ベースボールクラブに入りました。このチームは、今までずっと一緒に野球をして来た仲間とは違って、つい最近まで対戦してきた砺波地区の中学校のライバル達でした。

最初は、その中学校によって中継プレーなどの入り方が全然違ってやりづらかった部分もあったけど、お互いに案を出したり話し合いをしたりしました。そうすると、バラバラだった中継プレーもうまくつながるようになりました。また、試合でエラーをした時も「ドンマイ」や「惜しいよ」などお互いに声をかけ合って、励まされ勇気をもられました。

僕は、ピッチャー希望で入りました。最初はボールが重く、指からボールがよく抜けました。でも、コーチの方々から投げるコツやショートバウンドする気持ちで投げたら良いと教えていただき、実践するとキャッチャーの構えたミットに投げられるようになりました。その時は本当に気持ち良かったです。

軟式の時に悩んでいたコントロールも改善してきて一試合で四死球を一、二個に抑えられるようになりました。

最後の試合の紅白戦では、自分の思い通りのピッチングができ MVP をもらえて嬉しかったし、自信につながりました。

僕は、となみ野ベースボールクラブでプレーできて楽しかったです。努力と感謝の気持ちを忘れずに、ここで学んだことをこれからの生活で活かしていきたいと思います。

## 野球を通しての繋がり

庄川中学校 3年 山森 貫太

となみ野ベースボールクラブの活動に参加し、野球を通しての繋がりを深く実感することができました。

僕は、学童野球から中学校の部活動までの6年間、ほぼ変わらないチームメイトと野球をしてきました。この6年

間でも多くのことを学び、たくさんの経験をしました。

今回、となみ野ベースボールクラブの活動に参加させてもらい、新しいチームメイトと出会いました。中学3年の夏まで対戦していた他校の選手たちと一緒に活動していくうちに、プレーはもちろん、行動や野球に取り組む姿勢、態度、多くの刺激をうけ、仲良くなることができました。

また、指導者の方、試合のたびに応援に来られた方、高校関係の方、対戦相手、このように多くの人々が野球を通して繋がっているということを感じました。そして、何より野球ができることに感謝をしなければならぬと思いました。

僕たちに硬式野球の基礎を指導してくださり、硬式野球の楽しさを教えてくださったコーチの方々、グラウンドを貸してくださった高校関係者の方々、送迎や洗濯、弁当を作ってくれた家族、一緒にプレーした20人のチームメイト、すべての人やひとつひとつのことに感謝して、僕ができる最高のプレーをして恩返ししていきたいです。

#### 活動を通して学んだこと

庄川中学校 3年 桜野 凱生

僕が、このとなみ野ベースボールクラブの活動に参加して学んだことは、感謝することの大切さです。先生が、最後の話でおっしゃっていたように、野球は選手だけではできないということが改めて実感できました。

毎朝、早く起きて弁当を作ってくれること、ユニフォームの洗濯をしてくれること、会場までの送迎をしてくれること、このように家族の支えがあって僕は野球ができているのだなと思いました。

また、指導者の方々がたくさんのことを教えてくださったおかげで、自分はこのクラブの活動に参加してからとても成長できたなと思っています。

僕は、いろいろな人たちに支えられて野球ができています。このことを忘れないようにして高校野球の舞台でも活躍できるように頑張りたいです。そして、この活動では野球の技術のこともたくさん学びました。それも、今後の野球人生に生かしていきたいと思います。

#### となみ野ベースボールクラブに参加して

庄川中学校 3年 小西 惟仁

僕は、となみ野ベースボールクラブに参加して野球の技術的なことだけでなく、礼儀などのこともたくさん学ぶことができました。

技術的なことでは、最初は軟式と硬式のボールの跳ね方が違い戸惑いましたが、指導者の方々に一から親切に教えていただき硬式ボールの捕り方を学ぶことができました。

打撃面では、初球から積極的に打ちに行くことや、ボールを当てにいかず自分の強いスイングで打つことなどを教えていただき、ヒットを打つことができました。

礼儀面では、人の話を聞く時には姿勢をよくして目を見ることや、フォアボールで出塁する時にバットを丁寧に置くなど、道具を大切に扱うことも学びました。

その他にも親への感謝の気持ちをもってプレーすることを教えて頂きました。

今まで色々と指導して頂いたことを忘れず、高校でもプレーをしていきます。短い間でしたが色々と教えて頂き、ありがとうございました。

#### となみ野ベースボールクラブで学んだこと

庄川中学校 3年 吉藤 佑翔

となみ野ベースボールクラブの活動を通して軟式と硬式はたくさんの違いがあると思いました。

ボールの打ち方、捕り方、投げ方、守備位置、走塁など一つ一つに大きな違いがありました。失敗をすることがたくさんあったけれど、その度に指導者の方々が一つ一つ優しく丁寧に教えてくださったので同じ失敗を繰り返さずにプレーすることができました。

また、失敗を恐れずに積極的にプレーすることが大切だと学びました。ヒットを打った後、オーバーランを大きくとること、相手の守備位置を見て積極的に次の塁を狙うなど、ヒットを打てなくても点数が取れることがわかり、走塁の大切さを学びました。そして、そのためにもランナーコーチの大きなジェスチャーが大切だと思いました。

外野の守備では、バッターごとに選手同士で守備位置を確認し、前か後ろかはっきりさせることが大切だと分かりました。

色々なことを優しく教えてくださった指導者の方々、途中から参加したのにすぐに仲良くしてくれたチームメイトにとっても感謝しています。この活動を通して学んだことをこれからも生かしていきたいです。

#### となみ野ベースボールクラブで学んだこと

庄川中学校 3年 伊藤 昌真

僕は、二ヶ月遅れてチームに参加したのでとても短い時間でした。しかし、この二ヶ月で多くのことを学びました。そして貴重な経験をすることができました。

僕は、チームに参加する前は硬式と軟式ではあまり変わらないと思っていました。また、庄川のメンバーがたくさんいるのでチームもあまり変わらないと思っていましたが、実際はどちらも全然違うということが分かりました。

まず技術面では、ボールの跳ね方、打球の伸び方、バットの違いがあることが分かりました。僕が一番印象に残っていることは、バッティング練習でバットの芯を外した時の手の痛みです。とても痛くて驚きました。

次に、人間関係では、遅れて参加したこともあり、チームが出来上がっている中に入っていくことが難しかったです。しかし、一緒に練習をし、試合をするにつれて、チームメイトと話せるようになりプレーを褒めあうことができる仲になりました。

コーチの方々には積極的な走塁、バットの出し方、背走の仕方、四球で塁に出るときにバットを両手で置くことなどを教えていただきました。他にも礼儀という当たり前のことを教えていただきました。

僕は、このチームの活動を通して技術や人間関係を学びました。今後の高校生活に生かしていきたいと思います。